

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.2</b>
<b>Q1 室内環境</b>					<b>0.40</b>			<b>3.2</b>
<b>1 音環境</b>				<b>4.1</b>	0.15	-	-	4.1
<b>1.1 騒音</b>				<b>5.0</b>	0.40	-	-	
1 室内騒音レベル		室内騒音レベル:32dB		5.0	1.00	-	-	
2 設備騒音対策				-	-	-	-	
<b>1.2 遮音</b>				<b>3.4</b>	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能				3.0	0.30	-	-	
2 界壁遮音性能				3.0	0.30	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		教員研究室:床タイルカーペットLr-45を採用		5.0	0.20	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	0.20	-	-	
<b>1.3 吸音</b>		床にタイルカーペット、天井にロックウール化粧吸音板を採用		<b>4.0</b>	0.20	-	-	
<b>2 温熱環境</b>				<b>2.9</b>	0.35	-	-	2.9
<b>2.1 室温制御</b>				<b>3.6</b>	0.50	-	-	
1 室温		夏期:26、冬期:22の室温設定		4.0	0.60	-	-	
2 負荷変動・追従制御性				-	-	-	-	
3 外皮性能				3.0	0.40	-	-	
4 ソーン別制御性				-	-	-	-	
5 温度・湿度制御				-	-	-	-	
6 個別制御				-	-	-	-	
7 時間外空調に対する配慮				-	-	-	-	
8 監視システム				-	-	-	-	
<b>2.2 湿度制御</b>				<b>1.0</b>	0.20	-	-	
<b>2.3 空調方式</b>				<b>3.0</b>	0.30	-	-	
<b>3 光・視環境</b>				<b>2.8</b>	0.25	-	-	2.8
<b>3.1 昼光利用</b>				<b>2.4</b>	0.30	-	-	
1 昼光率				2.0	0.60	-	-	
2 方位別開口				-	-	-	-	
3 昼光利用設備				3.0	0.40	-	-	
<b>3.2 グレア対策</b>				<b>3.0</b>	0.30	-	-	
1 照明器具のグレア				-	-	-	-	
2 昼光制御				3.0	1.00	-	-	
3 映り込み対策				-	-	-	-	
<b>3.3 照度</b>				<b>3.0</b>	0.15	-	-	
<b>3.4 照明制御</b>				<b>3.0</b>	0.25	-	-	
<b>4 空気環境</b>				<b>3.7</b>	0.25	-	-	3.7
<b>4.1 発生源対策</b>				<b>4.0</b>	0.50	-	-	
1 化学汚染物質		ほぼ全てにF の材料を採用		4.0	1.00	-	-	
2 アスベスト対策				-	-	-	-	
3 ダニ・カビ等				-	-	-	-	
4 レジオネラ対策				-	-	-	-	
<b>4.2 換気</b>				<b>3.0</b>	0.30	-	-	
1 換気量		基準法の1.4倍以上の換気量を確保		5.0	0.33	-	-	
2 自然換気性能				3.0	0.33	-	-	
3 取り入れ外気への配慮				1.0	0.33	-	-	
4 給気計画				-	-	-	-	
<b>4.3 運用管理</b>				<b>4.0</b>	0.20	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視				3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御		全館禁煙である		5.0	0.50	-	-	
<b>Q2 サービス性能</b>				-	0.30	-	-	4.0
<b>1 機能性</b>				<b>4.4</b>	0.40	-	-	4.4
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>				<b>5.0</b>	0.40	-	-	
1 広さ・収納性				-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応				-	-	-	-	
3 バリアフリー計画		バリアフリー新法を満足し更に市の条例を満足		5.0	1.00	-	-	
<b>1.2 心理性・快適性</b>				<b>4.0</b>	0.30	-	-	
1 広さ感・景観				3.0	0.50	-	-	
2 リフレッシュスペース				-	-	-	-	
3 内装計画		建物コンセプト、機能の明確化、事前検討、照明と内装の一体化		5.0	0.50	-	-	
<b>1.3 維持管理</b>				<b>4.0</b>	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		防汚性に配慮した材料、雨だれ対策、防錆対策等		4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		SKを設置している、共用部での維持管理作業が可能		4.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務				-	-	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>3.6</b>	0.31	-	-	3.6
<b>2.1 耐震・免震</b>				<b>3.8</b>	0.48	-	-	
1 耐震性		基準法の1.25倍の耐震性を確保		4.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能				3.0	0.20	-	-	
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>				<b>3.4</b>	0.33	-	-	
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.23	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.23	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		講義室床タイルカーペット、壁EP(PBT12.5)、天井ロックウール化粧吸音板(t12)		5.0	0.09	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.08	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		雑排水及び汚水排水VP、給水VLP、Eは不使用		5.0	0.15	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.23	-	-	

2.4 信頼性			3.4	0.19	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備	節水機器の採用、井水の利用	4.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備	光・メタルの引き込み、浸水対策	4.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.9	0.29	-	-	3.9
3.1 空間のゆとり			4.0	0.31	-	-	
1	階高のゆとり	階高:3.8m	4.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率=0.18	4.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり		3900N/m <sup>2</sup> を確保	5.0	0.31	-	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.4
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.4
1 建物の熱負荷抑制			2.1	0.30	-	-	2.1
2 自然エネルギー利用			3.5	0.20	-	-	3.5
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用	太陽光発電を利用している	4.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		太陽光発電設備及びLED照明設備の採用	4.9	0.30	-	-	4.9
集合住宅以外の評価(ERRによる評価)		ERR=34%	4.9		-	-	
集合住宅の評価					-	-	
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.8
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1	節水	過半以上に節水器具を採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			4.0	0.63	-	-	4.0
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	高炉セメント:主要構造部	5.0	0.20	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	床:塩ビシート、床:タイルカーペット	4.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体+軽鉄+仕上材にて分別容易及びOAフロアの採用	5.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.22	-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.68	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	ノンフロンの断熱材を採用	5.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率=81%	3.7	0.33	-	-	3.7
2 地域環境への配慮			2.8	0.33	-	-	2.8
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.5	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドラインのチェックリストの過半を満たし、広告物照明は行っていない	5.0	0.70	-	-	
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	